

答弁 血圧降下薬の種類によりバランスは異なるが、今後服用している方の対策にも配慮しながらナトカリ測定を行っている。

質問 使用済小型電子機器等リサイクル回収実績とリチウムイオン電池の今後の回収方針は。

令和6年度回収実績はこでん回収ボックスは1120kg、イベント回収事業では1790kgである。リチウム電池の回収は今後体制の構築を検討していく。

質問 企業力強化促進事業の定量的成果は。

答弁 令和6年度にトヨタ生産方式を参考に取り組んだ市内企業で生産効率が130%に向上したとの報告を受けている。

(意見) KPIの成果測定は事業成果の聞き取りする際、定性的より定量的成果により表していただきたい。

質問 除雪事業者やオペレーターが年々減少しつつあると聞くが、今後の除雪計画の

策定方針及び解決方策は。

答弁 除雪委託業者とオペレーターが年々減少することが想定される中、住民共同の取り組みを支援していかなければならないとの危機感を持っていく。まずは先行事例に取り組み、そこから横展開していく解決策も探ってまいりたい。

質問 部活動地域移行推進事業の令和6年度の取り組み状況は。

答弁 令和6年度は卓球、ソフトテニス、吹奏楽の3団体を選定し、活動した際の課題等の検証を行い、令和7年度から進める地域移行計画の策定を行った。

質問 多くの市外転出者が二十歳のついで帰省する機会を有効活用し、鹿角家U25等の取り組みとこれまで以上に有機的に結びつく仕組みづくりができないか。

答弁 二十歳のついで開催の案内状を送付する際に鹿角家U25のチラシも同封しているが、登録者までは把握していないことから、今後検討し

ていく。

一般会計全体への意見

今年度、鹿角市では、公共施設等管理計画の改訂や行政経営基本方針を策定し、持続可能な行財政運営を進めようとしている。前例踏襲に徹するのではなく、市長のリーダーシップの下、事務事業の目的を達成したものは思い切ったスクラップ・アンド・ビルドを進め、新たな行政課題の解決に向け、貴重な財源を振り向けることを大いに期待している。

国民健康保険事業特別会計

質問 特定健康診査事業について、若年者健診の受診率と今後の対応は。

答弁 令和6年度の若年者健診受診率は14・2%であり、まだまだ低い状況にある。健診の意義を丁寧に周知していくとともに、従前の集団健診に加え、市内医療機関で健診することも実施内容に加えるなど、受診しやすさを周知しながら受診率向上に努めていく。

介護保険事業特別会計

質問 保険給付費について、施設入居者は相応のサービスを受けられるものの、在宅介護者はそうではないとの話もあるが、現状はどうか。

答弁 市では介護保険事業計画に基づき、施設や在宅介護サービス給付費の計画を定め、介護保険を運営しており、令和6年度はサービス利用回数が若干減っている状況で、休業した事業者もあつたものの在宅サービスのニーズは満たしていると捉えている。

